

質問

QUESTION

認知症対策は？

にしまつ さちこ  
西松 幸子「見守りシール」を  
作成し配布します

〔福祉課長〕

質問

現在、全国の認知症患者数は平成24年時点で462万人、32年には630万人と推計されています。認知症対策はいまや国民的課題となつています。昨年3月の一般質問で、介護保険の改定による町の対策についての回答の中で、認知症カフェの計画、介護ボランティアの養成講座を行なうとしていま

した。現在、安八町では昨年11月から「元気百梅カフェ」がサンライズ長良で、安八温泉でも週1回実施されています。29年度4月からは、安八診療所でも実施されることになり、多くの方から期待されています。また、昨年11月には元気サポーター養成講座が行なわれ、34人の方が受講され、ゴミ出しや電球の取替え等、時間に応じてワンコインでサービ

回答

平成29年2月末

現在、要介護認定を受けた方は450人います。そのうち280人の方が認知症を患っています。割合で62・2%です。また、65歳以上の人口3900人からみると7・2%です。町では、国の認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）に則り、認知症になつても安心して地域で生活が続けられるまちづくりを目指しています。「認知症初期集中支援チーム」は、28年度立ち上げました。今後については、専門

スが受けられる「生活支援事業」が、29年度4月から始まるお聞きしました。その事業を通して、さらに認知症の人たちを地域社会で見守っていく輪を広めていくことが望まれます。認知症は初期症状のうちに、プロが関わることが大事だとされておられ、医療や介護の専門職が適切な治療

再質問

認知症の方が家族がちよつ

医の指導の下、初期の支援を包括的・集中的に行なっていく予定です。認知症の方がと目をはなしたときに、外に出て家に帰ることができなくなる事例がよくあります。住所、名前を書いた「カエルワッペン」を作り、配布してはいいかがですか。また、他に何か良い方

回答

靴のかかとや、つま先に貼る

法があれば伺います。「見守りシール」を作成し配布することを考えています。シールの番号で情報を管理し、夜間でもわかるよう蛍光反射材を使用します。



平成28年度から始まった「認知症カフェ」の様子